

ePass2003 クイックスタートガイド(Windows 用)

ePass2003 は Chip/Smart Card Interface Devices(CCID)標準に準拠しており、Microsoft により提供される CCID デバイスドライバを使用できます。別途 CCID デバイスドライバをインストールする必要はありません。

ミドルウェアに関しては、下記 2 種類のミドルウェアを利用可能です。

- ✓ 飛天社のプライベート・ミドルウェア
- ✓ Microsoft Mini Driver ミドルウェア

1、事前環境構築

飛天社のプライベート・ミドルウェア を利用する場合(推薦)		Microsoft Mini Driver を利用する場合	
Windows OS	ePass2003_SDK¥Windows¥PKI¥Redist¥ePass2003-Setup.exe を実行し、CSP 種類にて[Private CSP]を選択してインストールします。 ユーザー用管理ツールは自動的にインストールされます。	Windows8.1	特にインストールせず、利用可能です。 ※Windows の自動アップデート機能を事前設定する必要。
		Windows10/11/ Server2012 以降	ePass2003_SDK¥Windows¥PKI¥Redist¥ePass2003-Setup.exe を実行し、CSP 種類にて[Microsoft CSP]を選択してインストールします。

※ インストール方法は『ePass2003 ユーザーマニュアル』の第 1 章を参照してください。

2、ePass2003 に電子証明書の導入(管理者向け)

	飛天社のプライベート・ミドルウェア を利用する場合	Microsoft Mini Driver を利用する場合
方法 1: 既存の pfx/p12/p7b /cer/crt 形式の電子証明書を ePass2003 にインポート	[スタート]→[EnterSafe]→[ePass2003 管理ツール]を利用して、電子証明書をインポートできます。	ePass2003_SDK¥Windows¥PKI¥Utilities¥ePassManagerAdm_2003.exe (管理者管理ツール)を利用して、電子証明書をインポートできます。
方法 2: 電子証明書を ePass2003 に生成	CSP には「EnterSafe ePass2003 CSP v1.0」を選択	CSP には「Microsoft Base Smart Card Crypto Provider」を選択

※ 管理ツールの利用方法は『ePass2003 ユーザーマニュアル』の第 2 章を参照してください。

3、ePass2003 の利用

ePass2003 は PKCS#11 及び MS CAPI 規格を準拠しています、VPN、IEEE802.1X、S/MIME などの様々な PKI アプリケーションと連携可能です。

※ Firefox など PKCS#11 準拠するブラウザを利用する場合、事前 PKCS#11 モジュールを設定する必要があります。
『ePass2003 と Mozilla FireFox の連携利用方法(Windows).pdf』を参照してください。

4、ePass2003 の開発(開発者向け)

ePass2003 SDK の中身を PC にコピーしてご利用ください。

※ 『ePass2003 開発者ガイド』参照してください。